

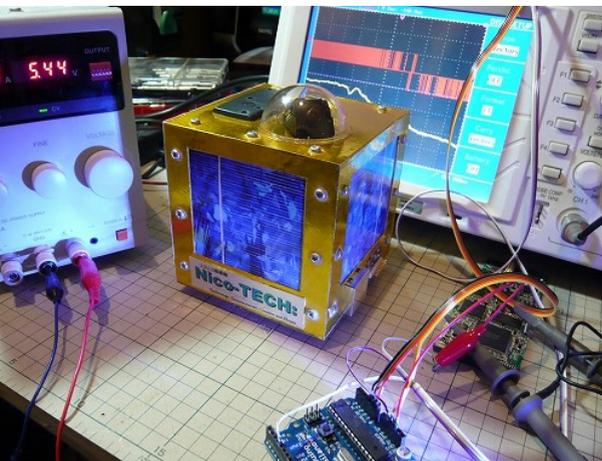
ソーシャル・メディア衛星開発プロジェクト 「SOMESAT」の進捗、そして今後について



ソーシャル・メディア衛星開発プロジェクトとは？

職業年齢性別に関係なく、有志が自由に集まって次のようなことに挑戦しよう！、というプロジェクトです。

- ・キューブサット相当の人工衛星を製作し、初音ミクほか、複数のキャラクターを搭載して宇宙に送る。初音ミク以外の搭載キャラクターは未定。



(ニコ技wiki SOMESATプロジェクト
<http://j.nicotech.jp/somesat> より)



このプロジェクトの意義？

- 国家機関や企業じゃなくても宇宙開発に参加できる「お茶の間宇宙開発」への挑戦
- 研究、調査目的に限られてきた宇宙開発のその他の目的への活用「エンターテインメント衛星」



SOMESAT

ソーシャル・メディア衛星開発プロジェクト
Social Media Satellite Development Project

プロジェクト開始までの経緯

- 2008年4月 JAXA相乗り衛星通年公募スタート。尻Pが「初音ミクを積んだ衛星を上げたい」と言い出す。
- 2008年6月 尻P、超電磁Pほかニコニコ技術部員、宇宙作家クラブ員数名で東大中須賀研を訪問、レクチャーを受ける。以後、非公開で断続的に検討開始。
- 2009年1月 超電磁Pの動画「はちゅね初！宇宙へ」シリーズ開始。「HAXA」タグが出現する。
- 2009年3月 HAXA定例IRC開始
- 2009年5月 HAXAからSOMESATに改称

ニコニコ大百科「ソーシャル・メディア衛星開発プロジェクトsomesat」より

プロジェクトの進捗

- 現在、『フェーズB』と呼ばれる準備段階にいて、ゆっくりとですが、安定したメンバーで着実に進んでいっています。
- フェーズA(2009年): 衛星の基本的な機能の検討と、基礎実験による技術的な裏づけをします。微小重力・温度・真空・放射線・振動・加速度など打ち上げや宇宙での環境に耐えるノウハウや、機械・電子(制御や通信)・光学面での基礎技術を蓄積。基本的に個人ベースで、やりたい人が興味の赴くままに動き(費用は手弁当ですが)、失敗・成功の研究動画をupしたり勉強会などしたりする段階に発展すればOK。また、法的な手続きや打ち上げ手段、運用体制も調査。
- フェーズB(2010年~): 衛星システムのとりのまとめ。具体的なミッション内容の絞込みとシステム全体の設計とりのまとめをします。宇宙関連のイベントに参加できたりするとさらに良いです。このへんから、きちんと組織を構成して、計画的に動き始める必要があるでしょう。費用についても、確保の方策を考えることが必要になるでしょう。
- 2010年10月1日: 正式に団体として発足しました。今後、法人格の取得を目指します。
- 各系統開発の他、ニコニコ技術部主催イベント、Make:TokyoMeeting等に出展しております。

今後の予定

- 2012年は、フェーズBをさらに推し進め、開発についても部分から全体へ、さらに個々の緩やかな結合から一体とした組織を核とした活動へと切り替えていく1年とする予定です。(法人設立も含め)

-

謝辞

- SOMESAT前身のHAXA時代より、実験を始め様々な点でご協力いただいた武蔵野ロケットクラブさま (<http://www.oshiba.com/mrc/>) に、この場を借りて御礼申し上げます。
-